



すたなか

荻田町青少年育成町民会議だより

「オアシス運動」 オアシス人形劇公演開催

6月18日（火）に「オアシス運動」啓発人形劇公演を第1ひまわり保育園で見させていただきました。

この日は、町内小学校のお話会「マサーグース」の与原小学校区の「スイミー」さんたち7人のメンバーによる公演でした。

プロ顔負けの演技に可愛い子どもたちが引き込まれて、とても楽しそうでした。本当にありがとうございました。

実は私、昔の話ですが、この保育園で美術を担当したことがあり、懐かしくて、園内を見てまわっていると、昔の子どもたちの顔、声、理事長さんの子どもたちへの暖かな眼差し等が思い出され、万感の思いに浸りました。“子どもが好きだ” “明日の日本を担う子をつくる” という故古市辰美さんの気迫が思い出されました。

ところで、第1ひまわり保育園卒園児の皆さん、本園が道路になるので取り壊されるそうです。今のうちに見学されて、幼き日のメモリーを味わっては、いかがでしょうか？！

松枝玲子



苅田町青少年育成町民会議 25回 総 会

●とき
 平成25年4月23日(火)
 ●ところ
 三原文化会館大ホール

平成25年4月23日(火)苅田町青少年育成町民会議第25回総会が開かれました。

来賓として、行橋警察署生活安全課長 川口和彦氏、苅田町議会 議長 坂本東二郎氏がご出席くださいました。

会長の挨拶から始まり、昨年度の主な事業と決算報告があり、今年度の事業計画案などを提案。当町民会議の今後の課題等について活発な意見が出る中で無事、総会を閉会しました。



重点目標としては、

1. 子ども同士や子どもと大人のふれあいを重視し、地域での異年齢の交流の場となる諸行事を企画し、各団体の活動を推進する。
2. 青少年の非行防止に努め、不審者や事故等から子どもたちを守る活動を推進する。
3. 苅田町が取り組んでいる「苅田町非行防止推進事業」の主旨に沿い、積極的に事業に参画する。
4. 青少年も社会の一員であることを自覚するようなボランティア活動を支援する。
5. 青少年問題に関する、広報・啓発活動を推進する。

以上を重点目標に、関係機関と密接な連携のもと、地域住民と協力して青少年の健全育成に努めてまいります。

平成25年度 事業計画

4月 ○あいさつ運動(年間)
 ○少年を守る日補導(毎月第3水曜日)
 ○理事会・総会
 5月 ○県民会議総会出席
 6月 ○オアシス人形劇公演
 (対象:幼稚園・保育園)
 ○朝の声かけ運動
 7月 青少年を非行から守る全国強調月間
 ○有害図書指導訪問
 ○オアシス人形劇公演
 (対象:幼稚園・保育園)
 ○夏休み特別補導
 ○すこやか71号発行
 ○親子ふれあい広場
 8月 ○少年非行・シンナー等
 薬物乱用防止講演会
 ○夏休み特別補導
 ○苅田駅前盆踊補導
 ○苅田町盆踊補導

9月 いじめストップ強調月間
 ○いじめストップキャンペーン実施
 ○健全育成講演会
 10月 ○神幸祭補導
 ○子どもフェスティバル
 ○オアシス等入選者表彰
 ○朝の声かけ運動
 11月 全国青少年健全育成強化月間
 ○教育講演会
 ○先進地視察研修
 ○すこやか72号発行
 12月 ○年末年始特別補導
 1月 ○家庭教育講座
 2月 ○どんど焼き補導
 ○親子ふれあいスポーツ
 3月 ○委員役員講演会
 ○春休み特別補導
 ○すこやか73号発行

講演会のご案内

〔テーマ〕「少年非行・概要・立ち直り支援」

青少年をめぐる問題は、昨今にインターネットや携帯電話を通じた「出会い系サイト」の被害を受ける事件・犯罪に見られるように、年々複雑かつ残虐な事件となっており、深刻さを増しています。

〔講師〕福岡県警察本部生活安全部少年課

飯塚少年サポートセンター係長 大原 公治 氏

〔会場〕荻田町中央公民館第5研修室

〔入場料〕無料

〔日時〕平成25年8月1日(木) 18時30分～

※どなたでもご参加できます。

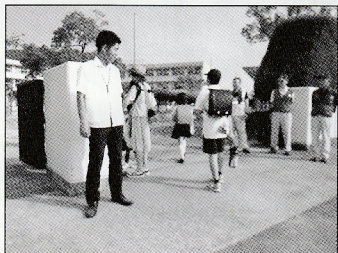
朝の声かけ運動

6月14日の暑い日差しの中、馬場小学校の校門前で「朝の声かけ運動」に参加しました。

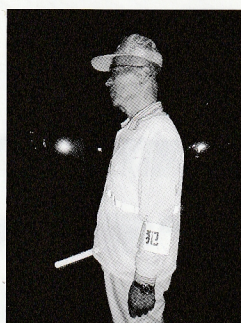
元気な声とともに子どもたちがやってきます。黄色帽子の一年生はランドセルと水筒が重そうです。頑張れ、頑張れと心で思いながら、「おはようございます」と笑顔で声をかけるとニコニコしながら、「おはようございます」が返ってきます。

元気いっぱいの子、はずかしそうな子、ちょっと元気がない子……。いろいろな子がいますけど、みんな頑張って学校に来ています。

来年はうちの孫が馬場小学校に入学します。元気で明るい声で挨拶している孫の姿を想像し、我が子の小学校時代を懐かしく思い浮かべながら、子どもたち一人一人に声をかけ、「朝の声かけ運動」があつたという間に終了しました。



少年補導員活動について —平成24年の少年非行情勢を通して—



向にあります。福岡県の平成24年の少年非行情勢をみると、刑法犯で検挙補導された人員は、4,804人で全国ワースト5位にあります。また、非行者率(少年人口1,000人当たり)に占める割合は、9.8人で同じく全国第3位にあります。初発型非行(万引き、オートバイ盗、自転車盗)で検挙補導された人員は、3,421人で刑法犯少年の実に71パーセントを占めています。つまり、少年非行のほとんどが初発型であり、友人に誘われて罪の意識を持たず、面白半分で非行に走っている様子がうかがわれます。なかでも、シンナー等の乱用により検挙された少年は、33人で13年連続全国ワースト1位という憂慮すべき状況にあります。その他、不良行為(喫煙、深夜徘徊)で補導された少年は、91,547人を数える現状であります。

このように、少年非行の状況は、世相を映し出す鏡でもあります。今後は、グローバル化やITの進展により、豊かな社会の到来が予想されています。しかし、その反面、厳しい競争社会になることも考えられます。何れにせよ、将来の社会を担っていくのは少年達です。こういった意味からも、地域における青少年健全育成活動は、今後益々機能していくことが求められます。

(少年補導員 金丸晴樹)



皆さんは、「少年補導員」という言葉をご存知でしょうか。少年補導員は、戦後の混乱期、多発する少年非行を防止するため、昭和37年4月に全国制度として創設されました。福岡県では、早くも同年には少年補導員が設置され、今日まで50年を越える長い歴史があります。現在、福岡県下には地域の警察署長から委嘱を受けた2,729名の少年補導員が警察ボランティアとして活動を続けています。その主な目的は、居住地域の日常生活を通じて、「非行少年等の早期発見及び補導」、「有害環境の浄化」にあります。因みに非行少年とは、「犯罪少年」(罪を犯した14歳以上20歳未満の少年)、「触法少年」(刑罰に触れる行為をした14歳未満の少年)、「虞犯少年」(将来、罪を犯し、刑罰に触れる行為をするおそれのある少年)のことをいいます。行橋警察署管内には77名の少年補導員が委嘱されていますが、その内、荻田町には19名の少年補導員が配置されています。

近年、新聞やテレビ等の報道にみられるように、少年を取り巻く環境は多様化しており、少年非行は悪質・凶悪化の傾

チャレンジする子どもたち



次世代を担う子どもたちが生きるこれからの時代は、どのようになっているのでしょうか？ 体験不足な子どもたちが大人になり、働かず、学ばず、遊ばずが多くなって来るのではないのでしょうか？ 私たち大人は、これでいいのかなあ～と考え直す時代が来たのでは？

子どもたちがいろんな事に好奇心を持ち、困難を克服するスキルを体験を通して学び、またチャレンジする精神を育てましょう…。



バア～バアの一言

No.26

最近、子どもたちが話す言葉を聞いていると、不思議なんじゃ？

- ・なぜ、「死ぬ・消えろ・きもい」などの言葉がすぐ出るの？
- ・なぜ、女の子が男の子のような言葉遣いをするの？
- ・なぜ、「ありがとう・ごめんなさい」などの言葉が出ないの？
- ・なぜ、誤解されるような言葉遣いになるの？

『口は災いのもと』と母から聞かされていました。「口から出た言葉は止めようが無く、最後は自分に降りかかってくる。気をつけなさい。」とねえ…。

今思うと、バア～バアの人生の中で沢山思い当たることがある。

現代っ子は、人とのコミュニケーションが苦手のようなのだ。しかし、大人になり、社会に仲間入りするようになると言葉がとても大切となる。自分の心を伝えるのも言葉、誤解を招くのも言葉、人と人を繋ぐのも言葉である。…とバア～バアは、考えますが、どうでしょうか？

現代っ子はゲームが好きで、また深夜までテレビを見ているとのこと…。今はいろんな情報が



子どもの手に入る環境があります。それが子どもたちにとって必要で有るか、無いかの判断が出来るまで、大人も我慢しなければいけないのか…いやっ、そうではない。見せてはならない本や、ゲームなど傍にありませんか？

子育ては、ただご飯を食べさせ、洋服を与えるものだけではありません。見て、聴いて、考える力も導いていかないと色々な事の判断ができません。できれば心が豊かな人に育つ方がいいのじゃが～そうはいかんですかねえ。子どもの言葉の乱れは、多すぎる情報、ゲーム、テレビ、良くない本…などから来ているのではないかと思う。言葉の重みが大人の考えている重さとはズレがあるようにも、バア～バアは思うところです。

どこかで、子どもの放つ言葉と子どもの取り巻く環境も考え、言葉の重さを感じとってみてはどうでしょう。そこに子育てのヒントもあるかも…

日本語を大切にしましょう。



馬場小学校

馬場小学校は、平成25年度で創立35年を迎えます。全校児童は268名、職員は31名の規模で、毎日明るく元気に過ごしています。

馬場小学校では

「夢」と「活力」・「笑顔」のある子ども

「創造」
よく考え
チャレンジする

「寛容」
互いに
思い合える

「自律」
気力・体力ある
たくましい

を育てるために、本年度

「**ば**」を考え、「**ば**」っちり、けじめのある行動で、つなぐと徹底

つなぐ…活動と学び、子どもと子ども、子どもと教師、家庭と学校、地域と学校

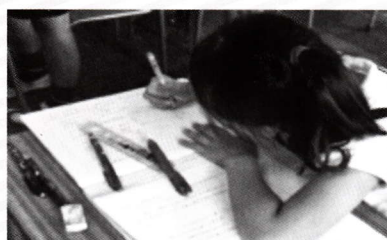
徹底…当たり前の生活の徹底(ルールを守り、すべきことをする)、基礎学力定着

をスローガンとし、中園和枝校長先生を中心にチーム馬場は力を合わせて頑張っています。

そこで、馬場小学校では、次のような取り組みを中心に子どもを育てています。

国語科の授業づくり

「文と文」「場面と場面」
などをつなぎ、考える



4年生「一つの花」

学習したことを下学年に
分かりやすく伝える



3年生から2年生へ

他学年との交流

昼休み



1年生と6年生

歓迎遠足
(4月)



1～6年生みんな

持久走の積み上げ

持久走タイム
(毎週水曜日)



先生も一緒に走ります



持久走大会
(12月)



練習の成果を「発揮」

『放課後子どもひろば』紹介⑤

町内6校の小学校を順に紹介させていただきます。今回は、南原小学校です。

チャレンジでの活動



お楽しみ会でのゲーム



スノードーム制作

自分の好きな
マスコットを持参して、
世界に一つの
作品が完成!!

日々の活動



晴れた日は元気に外遊び



みんなで体育館遊び



今日は何をしようかな…?



ちょっと質問!!

放課後子どもひろばとはどんな活動ですか??

学童のように専門員が子どもをお預かりする事業ではなく、子ども達が安全で楽しく放課後を過ごせる自由参加の居場所(見守りのある公園)です。各保護者の責任のもと参加していただいております。活動場所として学校をお借りしていますが、役場の事業ですので、お問合せは学校ではなく、子育て支援課までお願いします。



ひろばには「ルール」
があります。

自由な活動ですが、ひろばにはルールがあります。子ども達はルールを守りながら楽しく過ごしています。

苅田町役場

子育て支援課

TEL 093-588-1036



また、5月6日には、吉廣町長(当町民会議会長)へ表敬訪問し表彰の報告をいたしました。

また、5月6日には、

吉廣町長(当町民会議会長)へ表敬訪問し表彰の報告をいたしました。

また、5月6日には、吉廣町長(当町民会議会長)へ表敬訪問し表彰の報告をいたしました。

また、5月6日には、

吉廣町長(当町民会議会長)へ表敬訪問し表彰の報告をいたしました。

また、5月6日には、

吉廣町長(当町民会議会長)へ表敬訪問し表彰の報告をいたしました。

また、5月6日には、



福岡県青少年

育成県民会議から

表彰状

4月から苅田中学校専任補導となり、この「すこやか」の編集委員として活動させていたっています。

学校では、毎朝登校する子どもたちに校長とともに声をかけをしています。苅田中学校では、部活動や生徒会役員の生徒も自主的に一緒にあいつ運動をしています。その中で、子どもたちは毎日いろいろな表情を見せてくれます。声をかけを続けることで、少しずつあいつの声が大きくなったり、ほほえみや笑顔を見せてくれたりする生徒たちが増えてきたことを実感しています。

私も子どもたちの笑顔に「元気」をもらい、「今日も日がんばろう」と前向きな気持ちで朝のスタートを切ることができています。「子どもたちの笑顔って本当に素晴らしいものだ。」と日々感じています。

私自身も子どもたちの笑顔に「元気」をもらい、「今日も日がんばろう」と前向きな気持ちで朝のスタートを切ることができています。「子どもたちの笑顔って本当に素晴らしいものだ。」と日々感じています。

平成25年度すこやか編集委員

編集長

井上裕介

松枝 玲子
濱田 勝枝
原 育子
田口 朝子
金丸 晴樹
井上 裕介

編集・発行
苅田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会

TEL 093-434-9838

編集後記